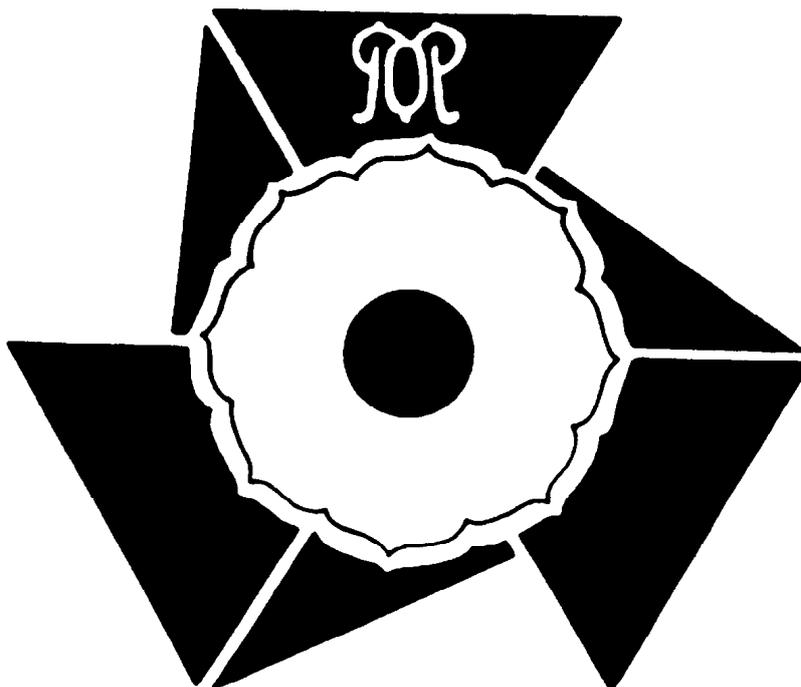


令和3年度

第44回 全国高等学校柔道選手権大会
神奈川県予選会
(団体の部 男子・女子)



日 時 令和4年1月15日（土）男子 2回戦（ベスト8）まで
22日（土）男子 3回戦から決勝まで
23日（日）女子
受付・計量 9時00分から9時45分まで
開 始 10時20分から

会 場 シンコースポーツ神奈川県立武道館

主 催 神奈川県柔道連盟
神奈川県高等学校体育連盟

大会役員

会 長	塩 浦 健 吾				
副 会 長	竹 内 博 之	吉 田 宏			
顧 問	武 田 準 幸 大 塚 喜 英 万 福 晶 博 林 田 和 孝	小 林 富 雄 浜 野 鎮 夫 波 多 野 和 敬 金 子 伸 一	込 山 英 雄 盛 本 輝 夫 児 島 義 明 菅 原 信 明	高 見 澤 隆 朝 野 哲 夫 栃 本 章	二 挺 木 幸 雄 鈴 木 久 男 吉 川 勝 啓
参 与	金 子 好 幸 宗 方 泰 司	五 十 里 雅 子	中 野 浩	梅 澤 一 之	近 藤 茂 人
大会 委員 長	井 上 信 二				
大会 副 委員 長	鈴 木 寛 人	國 吉 真 登 茂	多 田 功	獅 々 倉 聡	
競 技 委 員 長	鏑 木 文 隆				
競 技 副 委 員 長	平 山 与 八	川 上 智 一			
競 技 委 員	北 原 祥 二 郎 聖 生 晃 史 高 松 正 裕 笠 原 一 重 水 落 健 太	中 野 一 鈴 木 克 博 金 子 竜 彦 古 屋 善 之 八 卷 祐	小 林 幹 幸 金 田 隆 志 伊 丹 裕 子 大 塩 隆 司 諏 訪 勝 則	多 田 昌 人 山 下 晃 生 濱 名 淳 込 山 清	栃 本 章 太 峯 岸 義 則 武 田 淳 子 中 島 慎 二
審 判 委 員 長	平 山 与 八				
審 判 員	荒 卷 泰 藏 笠 原 一 重 古 賀 颯 人 坂 本 和 洋 高 橋 雄 太 多 田 昌 人 中 島 慎 二 廣 川 真 由 美 水 落 健 太	伊 丹 裕 子 柏 木 義 樹 五ノ井大裕 柴 田 啓 介 高 橋 良 治 田 端 創 円 永 富 新 悟 廣 木 あ す か 峯 岸 義 則	請 園 藍 里 金 岡 秀 明 小 林 幹 幸 志 村 優 太 高 松 正 裕 栃 本 章 太 中 野 一 福 壽 亮 森 山 か お り	薄 井 雅 浩 金 子 竜 彦 込 山 清 聖 生 晃 史 滝 沢 萌 中 島 結 樹 二 階 堂 陽 一 古 屋 善 之 八 卷 祐	大 塩 隆 司 北 原 祥 二 郎 齋 藤 稔 惣 田 充 武 田 淳 子 仲 島 達 也 濱 名 淳 本 田 卓
救 護	大 友 隆 雄				
補 助 役 員	横 須 賀 学 院 高 等 学 校 立 花 学 園 ・ 藤 沢 翔 陵 高 等 学 校 桐 蔭 学 園 高 等 学 校 日 本 大 学 高 等 学 校 東 海 大 学 付 属 相 模 高 等 学 校 相 洋 高 等 学 校	柔 道 部 生 徒 柔 道 部 生 徒	1月15日(土) 1月15日(土) 22日(土) 1月15日(土) 22日(土) 1月15日(土) 22日(土) 1月22日(土) 23日(日) 1月23日(日)		

令和3年度 第44回 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県 予選会 要項 訂正版

令和3年12月22日(水)作成

1. 主催：神奈川県柔道連盟 神奈川県高等学校体育連盟

2. 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

3. 日時

(1) 個人の部

- ①令和3年12月25日(土) 女子全階級・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 午前10時10分開会
午前10時10分開会
男子60kg級・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 午後1時00分開会
- ②令和3年12月26日(日) 男子66kg級・73kg級・81kg級・無差別級・・ 午前10時10分開会

(2) 団体の部

- ①令和4年1月15日(土) 男子初戦1・2回戦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 午前10時20分開会
- ②令和4年1月22日(土) 男子3回戦以降・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 午前10時20分開会
- ③令和4年1月23日(日) 女子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 午前10時20分開会

4. 場所：神奈川県立武道館

5. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。
- (3) 令和3年度（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。
- (4) 平成15年4月2日以降に生まれた者とする。（令和3年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍）ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) チーム編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。
- (8) 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。
- (9) 参加資格の特例
- ①上記(1) (2)に定める生徒以外で当該競技実施（大会）要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- ②上記(4)のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、2回限りとする。
- (10) 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること。（短期留学は認めない）
- (11) 県内大会団体合同チーム〔統廃合の対象となる学校を除く〕での参加については「大会共通事項」の「合同チームの参加について」を参照する。
- (12) 県内大会においては、試合の規定人員（補欠を含む人数）に満たない学校の参加も認めるが県内大会を予選会とする上位大会には、規定人員等の参加資格を満たしていない学校は代表校として推薦されない。この場合、条件を満たしている学校を対象として、常任委員会が代表校を選考する。
- (13) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。
- (14) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

- ①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医（脳神経外科）の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(15) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

6. 競技種目

(1) 男子個人の部

- ①下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は制限しない。
- ア. 60kg級(60kg以下) イ. 66kg級(60kgを超えて66kg以下) ウ. 73kg級(66kgを超えて73kg以下)
- エ. 81kg級(73kgを超えて81kg以下) オ. 無差別級
- ②登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。
- ③外国人留学生の参加人数制限は設けない。

(2) 女子個人の部

- ①下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は制限しない。
- ア. 48kg級(48kg以下) イ. 52kg級(48kgを超えて52kg以下) ウ. 57kg級(52kgを超えて57kg以下)
- エ. 63kg級(57kgを超えて63kg以下) オ. 無差別級
- ②個人の部の試合階級で57kg級及び63kg級に出場した選手は団体の部の先鋒には出場できない。なお、これに違反した場合は該当の選手を失格とする。
- ③登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。 次ページに続く

前ページから

- ④外国人留学生の参加人数制限は設けない。
- ⑤試合結果は次年度国体の選考対象とする。男子団体の部
- ⑥各学校1チームとする。なお、合同チームによる参加を認める。
- ⑦チーム編成は監督1名・選手6名とする。
- ⑧体重無差別とする。
- ⑨外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

(3) 女子団体の部

- ①各学校1チームとする。なお、合同チームによる参加を認める。
- ②チーム編成は監督1名・選手5名とする。
- ③体重別とし、体重区分は次のとおりとする。
ア. 先鋒52kg以下 イ. 中堅63kg以下 ウ. 大将無差別 エ. 補欠2名
- ④体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場できる。
- ⑤外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

7. 試合規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- (2) 試合時間は団体・個人の部ともに3分とする。~~ただし、団体の部の代表校決定戦（代表校1校の場合は決勝戦）は4分とする。※全ての試合を3分でおこなう。~~
点取り試合

(3) 男子団体の部の各チーム間の試合は勝ち抜き試合とする。試合は各チーム5名で行い、試合ごとの登録選手内でオーダーの変更を認める。

(4) 女子団体の部の各チーム間の試合は点取り試合とする。試合は各チーム3名で行い、試合ごとのオーダーの変更は認めない。

(5) 優勢勝ちの判定基準

①個人の部においては、「技あり」「僅差」（指導の差2）以上とする。優勢勝ちの基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の教に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

②団体試合においては、「技あり」「僅差」（指導の差2）以上とする。

ア. チームの内容が同等の場合

a. 男子の部では代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

b. 女子の部では引き分けの対戦から抽選して代表戦を行う。

なお、代表戦での男子の部判定基準は個人試合に準ずる。女子の部はゴールデンスコア方式の延長戦で行い、試合方式は規定の試合時間であつた時点、または、「指導」の教に差が出た時点で試合終了となる。スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

8. 競技方法はトーナメント戦とする。ただし、個人の部女子57kg級は代表選手が2名のため、ベスト4選出まではトーナメント戦でおこない、その後、ベスト4の選手による決勝リーグ戦をおこない順位付けをし、上位2名を選出する。

9. 表彰

- (1) 団体の部の優勝チームには優勝旗・優勝杯を、第5位まで賞状を贈る。
- (2) 個人の部の各階級第5位まで賞状を贈る。

~~(3) 男子団体の部においては五大抜きした選手に「優秀賞」を贈る。なお、不戦勝も勝ち抜きしたものを見なす。~~

10. 申込方法

- (1) 様式は所定の申し込み用紙による。
- (2) 期限は11月22日（月）から11月29日（月）までとする。なお、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。
- (3) 参加料は次のとおりとする。
 - ①個人の部の参加料は¥700とする。
 - ②団体の部

ア. 男子の部：1チーム¥6,000（合同チーム：¥3,000）

イ. 女子の部：1チーム¥3,500（ " " : ¥1,750）

※ P9 III 2. 参加料を参照すること。

11. その他

- (1) 男子・女子個人の部各階級の優勝者5名を県代表として全国大会に推薦する。
- (2) 男子・女子団体の部の優勝校と代表決定戦に勝利した学校を県代表として全国大会に推薦する。
- (3) 男子・女子団体の部の組み合わせについては、公開抽選により行う。参加校の代表生徒または顧問が必ず出席すること。

抽選日時：12月8日（水）15時から、抽選会場：藤沢翔陵高等学校

- (4) 計量規定、参加申込、参加料振込、団体合同チームでの参加等は大会参加共通事項を参照のこと。
- (5) 来場の際は公共の交通機関を利用する。県立武道館には、一般利用者向け駐車場がないため、自家用車での来館はしない。

全国選手権大会県予選(男子団体)

年度	参加校	1位	2位	3位	全国大会出場校		入賞の記録	
H9	88	東海	桐蔭	日藤	光明	東海	桐蔭	
H10	72	東海	桐蔭	日藤	武相	東海	桐蔭	東海 優勝
H11	63	東海	桐蔭	日藤	武相	東海	桐蔭	
H12	56	東海	桐蔭	横浜	光明	東海		
H13	61	東海	桐蔭	須賀学	横浜	東海		東海 準優勝
H14	58	東海	桐蔭	横浜	日藤	東海	桐蔭	
H15	56	桐蔭	東海	藤嶺藤沢	日藤	桐蔭		
H16	56	桐蔭	東海	日藤	横浜	桐蔭		桐蔭 優勝
H17	54	桐蔭	東海	日藤	光明	桐蔭	東海	
H18	50	東海	桐蔭	相洋	日藤	東海		東海 優勝
H19	51	東海	南が丘	日藤	武相	東海	南が丘	東海 優勝
H20	48	東海	桐蔭	横浜	秦野総合	東海	桐蔭	東海 優勝
H21	53	東海	桐蔭	相洋	横浜	東海	桐蔭	東海 準優勝
H22	51	東海	桐蔭	相洋	横浜	東海	桐蔭	東日本大地震の影響で中止
H23	42	東海	桐蔭	慶応	横浜	東海	桐蔭	桐蔭 準優勝 東海 3位
H24	37	桐蔭	東海	相洋	慶応	桐蔭	東海	桐蔭 3位 東海 3位
H25	38	桐蔭	東海	慶應	相洋	桐蔭		
H26	39	東海	桐蔭	相洋	慶應	東海		
H27	38	桐蔭	東海	相洋	慶應	桐蔭		
H28	41	桐蔭	東海	慶應	相洋	桐蔭		桐蔭 優勝
H29	34	桐蔭	東海	相洋	慶応	桐蔭	東海	桐蔭 3位
H30	28	桐蔭	東海	慶應	横浜	桐蔭		
R01	32	東海	桐蔭	横浜	慶應	東海		緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染症拡大予防)のため大会実施
R02		緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染症拡大予防)のため大会実施中止						
R03								

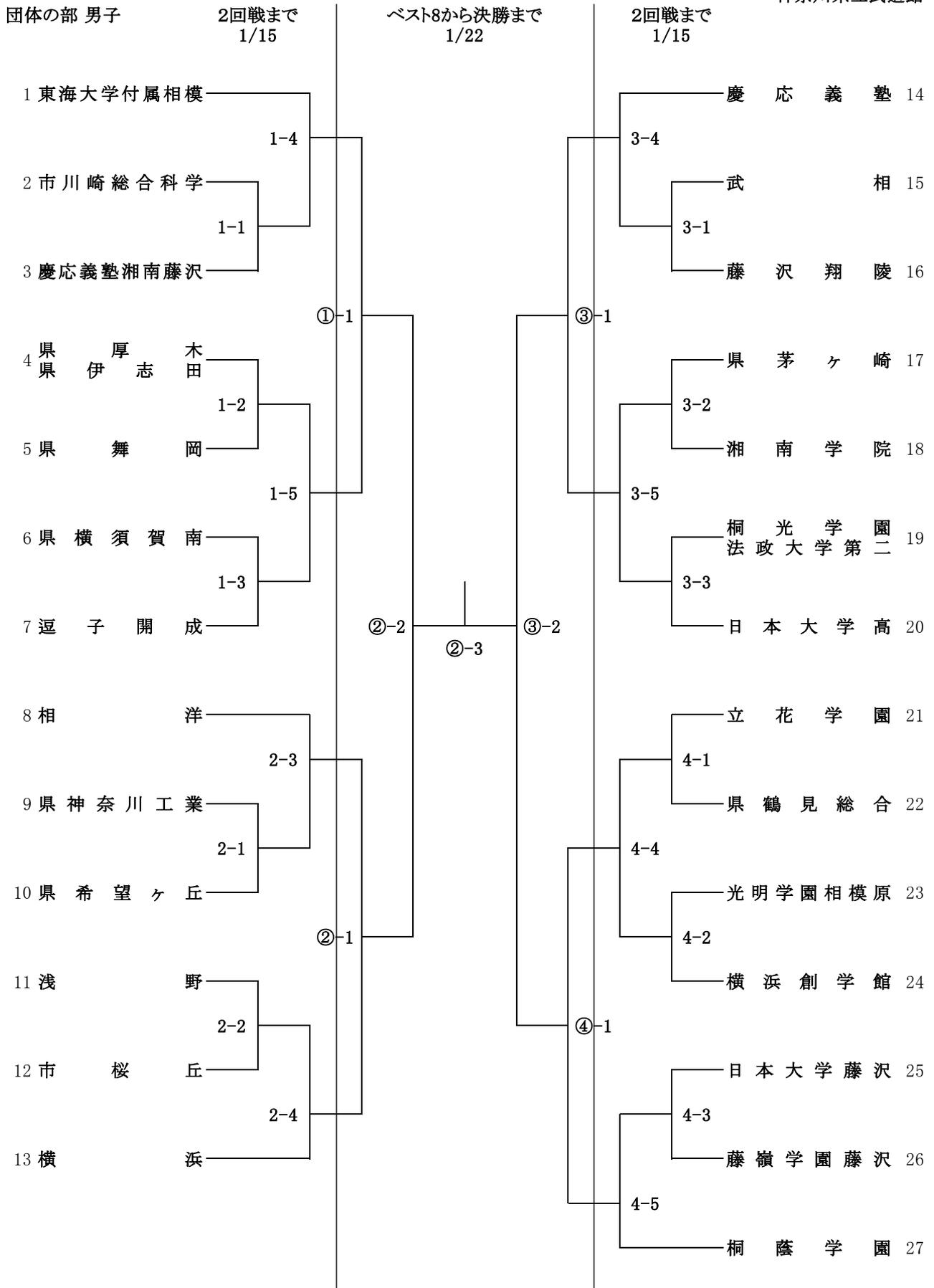
全国選手権大会県予選(女子団体)

年度	参加校	1位	2位	3位	全国大会出場校		入賞の記録	
H11	17	須賀学A	須賀学B	日藤B	日藤A			
H12	18	悪天候のため実施せず						
H13	23	日藤	三浦A	須賀学A	光明A			
H14	24	三浦A	光明	日藤A	須賀学			
H15	19	桐蔭A	須賀学A	日藤A	光明			
H16	18	桐蔭A	三浦A	日藤A	光明			
H17	18	桐蔭	須賀学	三浦	日藤	桐蔭		
H18	15	須賀学	三浦	桐蔭	日藤	須賀学		
H19	15	須賀学	三浦	光明	日藤	須賀学		
H20	13	三浦	須賀学	光明	日藤	三浦		
H21	14	三浦	須賀学	白鵬	日大	三浦		
H22	14	須賀学	桐蔭	日藤	三浦	須賀学		東日本大地震の影響で中止
H23	14	桐蔭	須賀学	日藤	三浦	桐蔭		
H24	17	三浦	桐蔭	日藤	須賀学	三浦		
H25	16	桐蔭	須賀学	三浦	白鵬	桐蔭		桐蔭学園 準優勝
H26	12	桐蔭	三浦	相洋	須賀学	桐蔭		桐蔭学園 第3位
H27	13	桐蔭	須賀学	伊志田・秦総	三浦学苑	桐蔭		
H28	16	桐蔭	三浦	白鵬	須賀学	桐蔭		
H29	15	桐蔭	三浦	須賀学	白鵬	桐蔭		
H30	12	須賀学	桐蔭	白鵬	三浦	須賀学		
R01	12	桐蔭	須賀学	三浦	白鵬	桐蔭		緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染症拡大予防)のため大会実施
R02		緊急事態宣言発令(新型コロナウイルス感染症拡大予防)のため大会実施中止						
R03								

試合進行表
団体の部 男子 1月15日(土)22日(土)

時間	第1試合場 1- ①-	第2試合場 2- ②-	第3試合場 3- ③-	第4試合場 4- ④-
	試合順	試合順	試合順	試合順
1/15実施	1回戦 1 ~ 3	1回戦 1 ~ 2	1回戦 1 ~ 3	1回戦 1 ~ 3
	ベスト8決 4 ~ 5	ベスト8決 3 ~ 4	ベスト8決 4 ~ 5	ベスト8決 4 ~ 5
1/22実施	準々決 1	準々決 1	準々決 1	準々決 1
		準決 2	準決 2	
		決勝 3		

全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県予選
 令和4年1月15日(土)22日(土)
 神奈川県立武道館



令和3年度 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県予選
団体の部 男子 出場選手一覧

1	東海大学付属相模
1	上田 夏也人・初
2	田中 詩音・初
3	金杉 元太・初
4	木原 慧登・初
5	手塚 春太郎・初
6	杉本 明豊・初

2	市川崎総合科学
1	佐藤 裕翔・初
2	諸山 来輝・初
3	脇谷 悠叶・無
4	福田 隼大・初
5	和田 凱斗・初
6	

3	慶應義塾湘南藤沢
1	石村 勇人・初
2	瀧口 新之助・初
3	井出 晴元・初
4	
5	
6	

4	県厚木・県伊志田
1	小澤 竜樹・初
2	作田 成駿・初
3	瀧澤 尚武・無
4	小谷 凌太郎・無
5	柳川 裕太・無
6	川口 晴基・初

5	県舞岡
1	石原 京乃介・初
2	入内島 弘貴・無
3	高橋 大地・初
4	
5	
6	

6	県横須賀南
1	大和 呼人・初
2	関 海之亮・初
3	出口 栄吉・初
4	脇坂 奨・初
5	
6	

7	逗子開成
1	三瓶 純志・初
2	菅野 隼太・初
3	部奈 誠士・無
4	橋口 駿・無
5	平本 悠真・初
6	桃井 稔世・無

8	相洋
1	井上 航・初
2	中村 帆希・初
3	江畑 息吹・初
4	矢田 隆太郎・初
5	関野 竜二郎・初
6	大平 崇太・初

9	県神奈川工業
1	鎌田 修司・無
2	峯岸 樹・無
3	原谷 颯汰・無
4	堂園 悠月・無
5	佐々木 夏樹・無
6	

10	県希望ヶ丘
1	青山 堅太郎・初
2	岡部 翼・無
3	小泉 藍生・弐
4	安藤 優夏・初
5	
6	

11	浅野
1	木下 魁人・初
2	榎本 祐樹・初
3	鈴木 博之・初
4	加藤 日五矢・初
5	林 俊博・初
6	澤田 一樹・初

12	市桜丘
1	高屋 健伸・無
2	稻葉 源太郎・初
3	大塚 海斗・初
4	鹿島 時生・初
5	
6	

13	横浜
1	吉田 琉也・初
2	松島 蓮斗・初
3	武内 忍苑・初
4	伊澤 一登・初
5	下田 和壽・初
6	安齋 優太・初

14	慶應義塾
1	真田 康志郎・初
2	則政 大和・無
3	土川 将克・初
4	山元 惇暉・初
5	石島 大誠・初
6	

15	武相
1	上村 雄貴・初
2	中江田 友太・初
3	秋田 善斗・初
4	井上 雅幸・初
5	佐竹 誠矢・初
6	宍戸 真寛・初

令和3年度 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県予選
団体の部 男子 出場選手一覧

16	藤沢翔陵
1	中島 佐助・初
2	西澤 快・初
3	伊藤 悠・初
4	榎田 昇太郎・初
5	河野 晃大・初
6	高瀬 暖人・初

17	県茅ヶ崎
1	松井 康平・無
2	坂井 公耀・初
3	富田 凜・初
4	寺島 新太・初
5	一見 昂輝・初
6	山本 涼・無

18	湘南学院
1	植村 幸輝・初
2	植村 翔輝・初
3	石渡 寛太・初
4	村山 貴泰・初
5	佐藤 黎汰・初
6	横田 空・初

19	桐光学園・法政大学第二
1	中嶋 真之介・無
2	不動 龍之介・初
3	杉山 慶伍・初
4	富山 大輝・初
5	
6	

20	日本大学高
1	岡山 善星・初
2	戸叶 真和・初
3	八代 央人・初
4	小澤 寿久・初
5	牧野 新大・初
6	佐藤 朋那・初

21	立花学園
1	酒井 燦・初
2	田所 大和・初
3	幸野 飛我・初
4	清田 陸斗・初
5	藤原 明空・初
6	柳瀬 太玖・初

22	県鶴見総合
1	白濱 雅希・初
2	鈴木 拓実・無
3	岩佐 砂・初
4	イケ マイケル・無
5	加藤 大生・無
6	馬場 匠・無

23	光明学園相模原
1	横田 朋幸・初
2	堀江 拓斗・初
3	久能 桐馬・初
4	浦和 寛斗・初
5	石黒 壱悟・初
6	光武 汰良・初

24	横浜創学館
1	守屋 伸浩・初
2	守屋 利浩・初
3	鈴木 那琉・初
4	橋本 雅史・弐
5	竹野 雅崇・初
6	小玉 柊人・初

25	日本大学藤沢
1	内田 迅・初
2	畠山 悠青・初
3	三谷 悠斗・初
4	井上 勇希・初
5	中野 和真・初
6	千葉 玄德・初

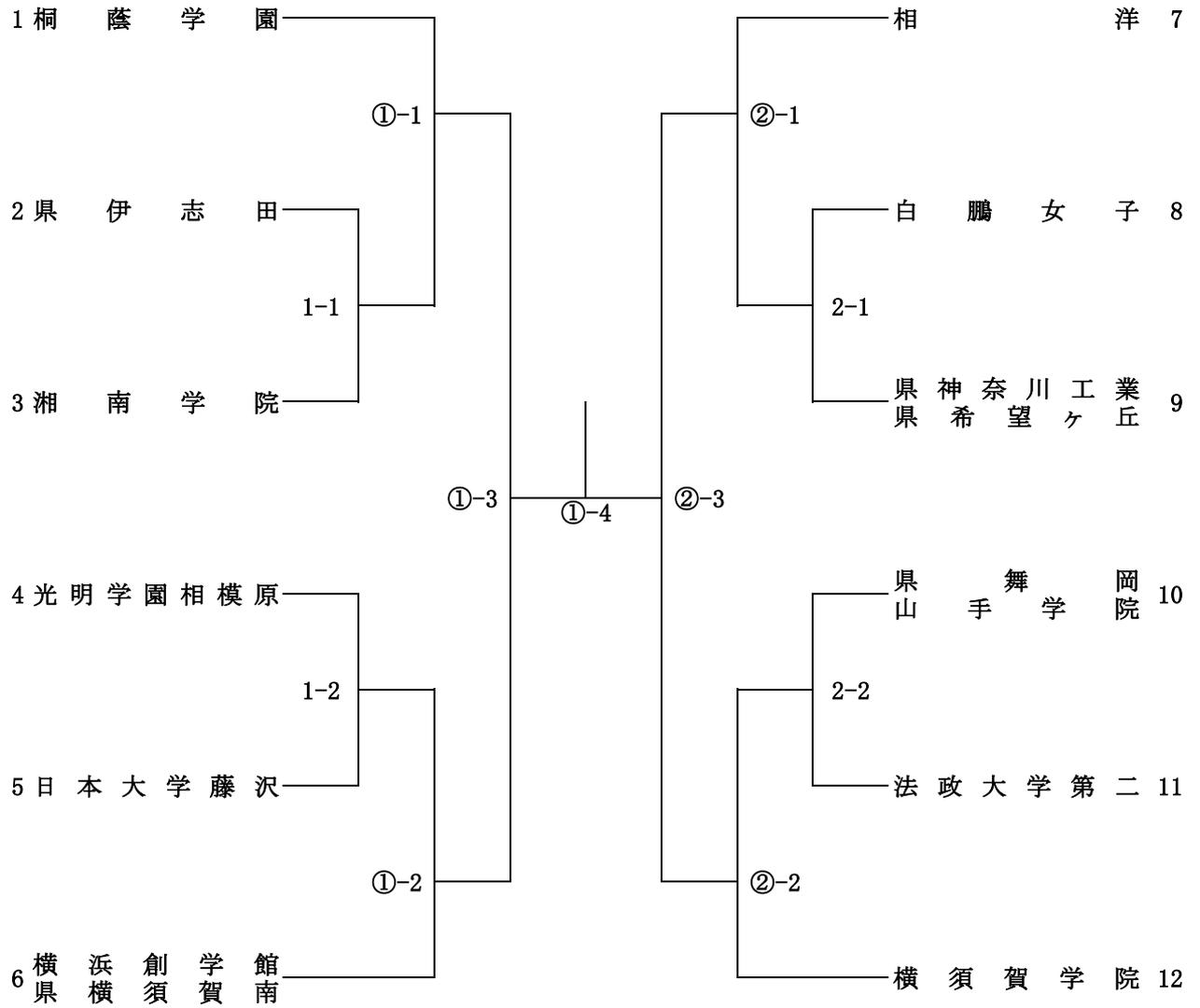
26	藤嶺学園藤沢
1	角田 日向・初
2	窪嶋 勇心・初
3	岩下 太郎・初
4	増田 歩・初
5	栗田 康祐・初
6	濱田 明快・初

27	桐蔭学園
1	西山 倅生・初
2	安藤 吉平・初
3	坪根 武志・初
4	千野根 玄貴・初
5	須藤 龍一・初
6	野澤 孔・初

試合進行表
団体の部 女子 1月23日(日)

時間	第1試合場 1- ①-	第2試合場 2- ②-	第3試合場 3- ③-	第4試合場 4- ④-
	試合順	試合順	試合順	試合順
		ベスト8決 1 ~ 2	ベスト8決 1 ~ 2	
		準々決 1 ~ 2	準々決 1 ~ 2	
		準決 3	準決 3	
		決勝 4		

団体の部 女子



令和3年度 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県予選
団体の部 女子 出場選手一覧

1	桐蔭学園
-52	相田 夏音・初
-63	上野 明日香・初
無	星野 七虹・初
補	舩山 葵音・初
補	山出 愛実・初

2	県伊志田
-52	半田 ひより・初
-63	白石 花純・無
無	
補	
補	

3	湘南学院
-52	中山 瑠香・初
-63	落合 渚・初
無	林 奈和美・初
補	山本 心愛・初
補	

4	光明学園相模原
-52	宮崎 喜久・初
-63	桃園 愛華・初
無	村上 舞羽・初
補	
補	

5	日本大学藤沢
-52	伊與田 ねね・初
-63	井桁 美優・初
無	須藤 舞・初
補	辛島 紅蘭・初
補	高橋 夏鈴・初

6	横浜創学館・県横須賀南
-52	和田 昇子・初
-63	
無	ジョクソン ありさ・無
補	柴田 真菜・無
補	

7	相洋
-52	鰻田 愛菜美・初
-63	齋藤 生咲・初
無	間瀬 なな子・初
補	
補	佐々木 冴来・初

8	白鵬女子
-52	関根 萌々美・初
-63	堺谷 真桜・初
無	杉山 寧音・初
補	清水 ひなた・初
補	田嶋 佳那瑠・初

9	県神奈川工業・県希望ヶ丘
-52	宇田 千鶴・初
-63	福島 和心・初
無	
補	
補	

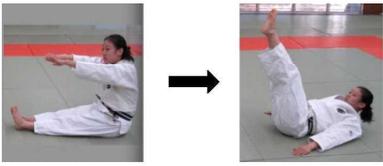
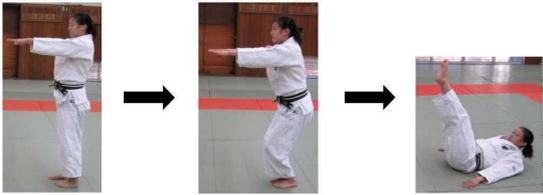
10	県舞岡・山手学院
-52	原 有穂・無
-63	井上 瑛恵・無
無	岩崎 真実・初
補	
補	

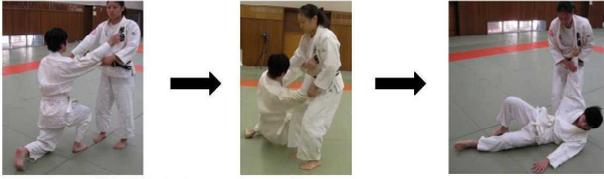
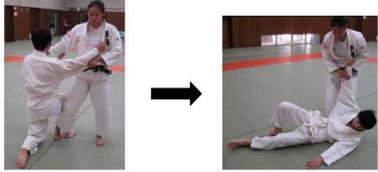
11	法政大学第二
-52	志鎌 おと音・無
-63	太田 有美・無
無	岡澤 俐歩・無
補	稲葉 優佳・無
補	

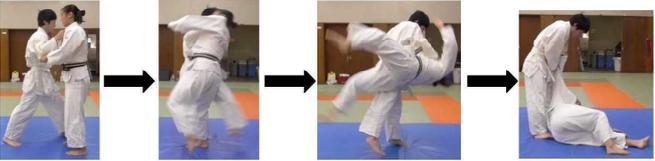
12	横須賀学院
-52	福元 稲穂・初
-63	横山 七海・初
無	千葉 むつみ・初
補	青木 心音・初
補	酒井 梨里花・初



2 段階的指導手順例

段 階	練習の内容	練習時間の目安 (60～90分で週 3～4回程度の場合)	見極めのポイント (各段階で確認後次の 段階へ)
第1段階 単独で後ろ受身 ができる	1-① 長座の姿勢からの受身  1-② 中腰の姿勢からの受身  1-③ 立位からの受身 	1～2週間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか

<p>第2段階 相手の動作（大外掛【通称】）に対応した後ろ受身ができる</p>	<p>2-① 片膝をついた姿勢から、大外刈の崩し、体さばきに対応した受身</p>  <p>2-② 片膝をついた姿勢から大外掛（通称）に対応した受身</p>  <p>2-③ 立位から、大外掛（通称）に対応した受身</p> 	<p>1～2ヶ月間程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか ・取りは、引き手を離さず保持しているか
---	--	-----------------	--

<p>第3段階 初歩的な大外刈に対応した後ろ受身ができる</p>	<p>3-① 投げで、刈りあげない大外刈に対応した受身</p>  <p>3-② 初歩的な大外刈に対応した受身</p>  <p>3-③ 出ようとしたとき、下がろうとしたときにかけられる初歩的な大外刈に対応した受身</p>	<p>3ヶ月間程度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受身ができているか ・取りは、引き手を離さず保持しているか
--------------------------------------	--	---------------	--

注-1：第3段階までの技能習得レベルを個々に評価し、安全を見極めてから次へ（投げ込み、乱取り）進むこと。

注-2：他校との合同練習や公式試合への参加の可否についても同様に判断すること。

注-3：大内刈、小内刈など後ろに倒される技についても同様に確認すること

注-4：基礎体力、特に首周辺の筋力強化のトレーニングも並行して行うこと

令和3年度 全国選手権大会 神奈川県予選 団体の部 インスタグラムライブ配信について

神奈川県高体連柔道専門部では試験的にInstagramのアプリを利用したライブ配信を以下のとおり行います。初めての試みになります。通信障害等で配信できない場合も想定されますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

この件の問い合わせを会場のシンコースポーツ神奈川県立武道館にしないでください。

日 時 1月15日(土) 10時頃～
男子 2回戦(ベスト8)まで
1月22日(土) 10時頃～
男子 ベスト8～決勝まで
1月23日(日) 10時頃～
女子

大会名 令和3年度 全国高等学校柔道選手権大会 神奈川県予選 団体の部

開催場所 シンコースポーツ神奈川県立武道館

視聴について

ご視聴の際はInstagramのアプリをダウンロード・インストールし以下のアカウントをフォローしてライブ配信をご覧ください。また全試合アーカイブ配信(見逃し配信)はありません。ライブ配信のみになります。

Instagramのライブ配信は最長1時間となっています。1時間ごとの切り替えの時間も
ありますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

第1 試合場 kanagawa.koutairen.judo1

第2 試合場 kanagawa.koutairen.judo2

第3 試合場 kanagawa.koutairen.judo3

第4 試合場 kanagawa.koutairen.judo4

令和3年度 昇段推薦受験試合結果確認書

学 校 名	氏 名	段 位
(ふりがな)	(ふりがな)	段

令和3年度 全国選手権大会 神奈川県予選 団体の部 1月15日(土)・22(土)・23日(日)

対戦相手名 (対戦相手の段位)	所 属(学校名)	勝 敗	得 点
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5

神奈川県柔道連盟会長 殿

上記の者の試合結果は、昇段推薦受験試合成績対象であることを証明します。

顧問名

㊟

武道館避難経路

◎緊急放送や職員・大会主催者の指示に従って、落ち着いて避難してください

<弓道場>

- 射場・師範室からは、屋外巻わら場へ出る
- 観覧席・更衣室からは、玄関方面へ
- 渡り廊下の扉が開いていればそこから屋外へ出る

<小道場・師範室・更衣室>

- 廊下に出て玄関方面へ
- 廊下に出て階段を下り、職員通用口または駐車場から屋外へ
- ※職員通用口はガラスを割って出る（ハンマーがあります）
- 駐車場シャッターが動けば駐車場からも屋外へ

<1階>



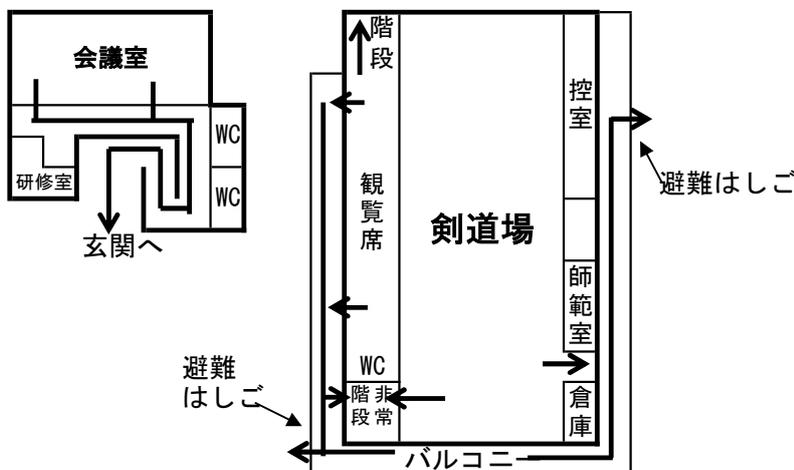
<柔道場>

- 観覧席から屋外へ出る
- 観覧席から階段を上り玄関方面へ
- 試合場から給湯室、非常口、観覧席から屋外へ

<剣道場>

- 観覧席から階段を下り玄関方面へ
- 観覧席からバルコニーへ出て、避難はしご又は非常階段を下りる
- 試合場から観覧席、給湯室からバルコニーへ出る
- 試合場から非常階段・通常階段を下りて柔道場非常口・玄関方面へ

<2階> ※会議室は玄関広間2階、剣道場は柔道場の上階



<会議室>

- 階段を下りて玄関へ

<全体>

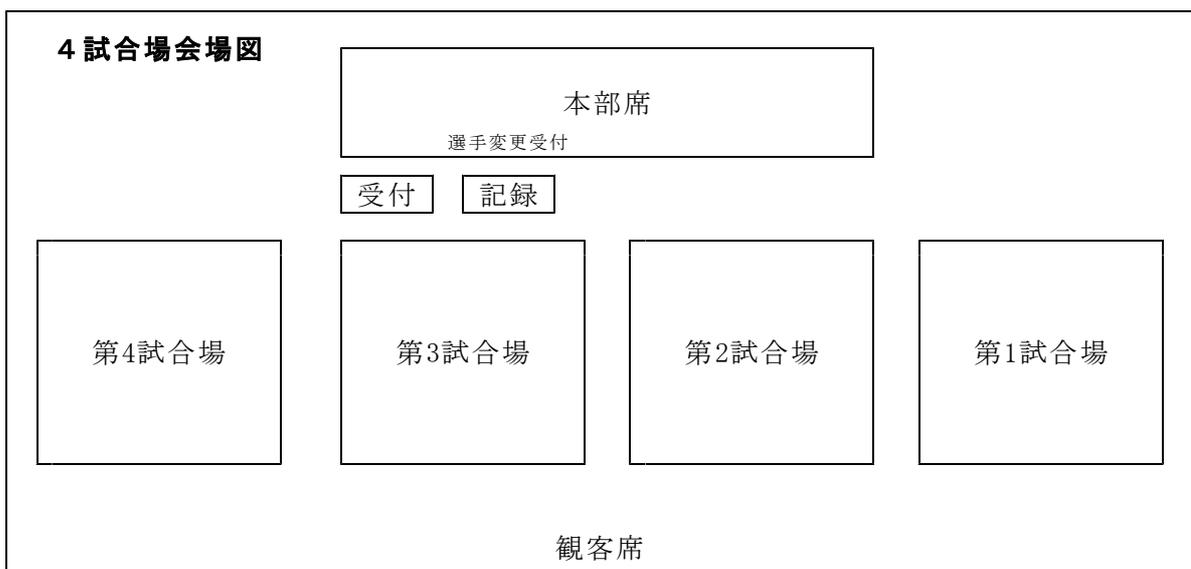
- ◎各階段の幅が狭いので、慌てずに避難してください。
- ◎巨大地震の際は瓦の落下にご注意ください。
- ◎剣道場～柔道場の非常階段には荷物を置かないでください。
- ◎各道場観覧席後方の通路は荷物を置かず、十分な広さを確保してください。
- ◎出火の際は近くの火災報知器のボタンを強く押してください。
- ◎裸足の方がほとんどですので、破片等に注意してください。

※剣道場非常階段は柔道場非常口に通じる

大会に関する申し合わせ事項

大会運営について

- (1) 各学校引率責任者は「試合上の注意・運営上の注意」前までに本部受付にて受付を行う。
 - (2) 大会中の選手の行動については柔道選手としてふさわしいものであるよう指導する。
 - (3) 貴重品は各学校で責任をもって保管する。
 - (4) 更衣は決められた場所で行ない、廊下等では行わない。決められた場所以外に不用意に立ち入らない。また、更衣場には敷物等を敷かない。
 - (5) ビン類（ガラス容器）の持ち込みは固く禁止する。
 - (6) 各校で出したゴミは必ず持ち帰る。特に弁当の食べ終わった容器をそのままにしない。
 - (7) 県立武道館避難経路を必ず確認する。
 - (8) 競技をしている時以外は密を避けるように努める。
 - (9) 試合実施上の注意
 - ① 試合開始前
 - ア. マスクは各自で管理する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ② 試合直後
 - ア. マスクを着用する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ウ. 各自、クールダウンを行う。
 - a. 時間：5分程度
 - b. 状態：呼吸が整うまで
- ※監督指導はクールダウンが終了後に行う。
- エ. 試合中について
 - a. 試合を行っている選手以外は大きな声を出さない。



神奈川県高体連柔道専門部